

## 第1学年1組美術科学習指導案

### 1 単元名 「感じ」を伝えるオノマトペレタリング

2 本 時 平成30年10月2日(火) 第2校時 美術科教室

### 3 本時の指導観

生徒は前時まで、色の感情や対比についてとレタリングの基本である明朝体とゴシック体について、また、レタリングの形や色によって見る人に「感じ」を伝えることができることを学習している。本単元では、色や形を工夫することで見るものに感じが伝わるようなレタリングの制作を行う。

そこで、本時では、自分が制作するオノマトペレタリングのオノマトペを決め、そのオノマトペから自分が受ける「感じ」を具体的に整理し、どのようにしたらその「感じ」を見る人に伝えられるかを既習の内容を活用しながら構想できる。そのために、イメージマップを活用し、構想を文章化することで明確にする。

### 4 主 眼

レタリングするオノマトペを自ら主体的に決め、オノマトペの「感じ」を明確にして作品の構想を練ることができる。

### 5 どのような思考ツールを活用して、生徒の考えを広げたり深めたりするかの工夫点(本年度の重点項目)

イメージマップを用いてオノマトペの表現したい「感じ」を取捨選択し、文章化することを通して構想を明確にする。

6 準 備 レタリング参考作品、ワークシート、色鉛筆、既習の内容を想起させる掲示物

### 7 展 開

段階	学習活動・学習内容	具体的な支援	評価の観点・方法	形態	配時
つかむ	1 前時の振り返り。 ○色と形を工夫することで「感じ」を伝えることができる。	○前時の学習を想起しやすくするために前時の掲示物を再度掲示する。		全	5
／	めあて レタリングするオノマトペを決め、分析して作品の構想を練ろう。				
さぐ	2 オノマトペを選ぶ。 (1) 思いつくオノマトペを書き出す。 (2) レタリングすることを考えながらオノマトペを一つ選らぶ。	○オノマトペを見つけやすくするために生活を振り返らせる。 ○オリジナリティのある作品になるように人と違ったオノマトペをできるだけ選ぶよう声掛けをする。		／ 個	／ 10
ふかめる	3 選んだオノマトペを分析する。 (1) イメージマップを書き、オノマトペから受ける「感じ」を書き出す。 (2) レタリングで伝えたい「感じ」を整理して文章で書く。	○構想を広げるため班の人にも考えてもらう時間を設定する。 ○具体的に書くことができるように例を示す。	オノマトペの「感じ」を具体的にとらえ、制作につなげるこ	個 ↓ 班	15 ／ ／
／	4 作品のアイデアスケッチを描く。	○色の工夫ができるように既習の内容を掲示したり、色鉛筆を用意したりする。	とができているか。 (様相観察・学習プリント)	個	15
まとめ	5 今回の授業で学んだことを振り返り、次時の見通しを持つ。	○次時から制作に入ることを知らせ、画像などを調べイメージを具体的にしておくように伝える。	【構】		／ 5

## 【授業の実際】

○つかむ段階について（既習事項とのズレ・隔たりから内面に生じた問い・課題を設定する場面）

テーマと条件を確認し、発想を広げるために前時までの学習の内容の確認とオノマトペをできるだけ挙げる活動をおこなった。国語で学習したばかりということもあり、オノマトペは平均20以上挙げる事ができた。

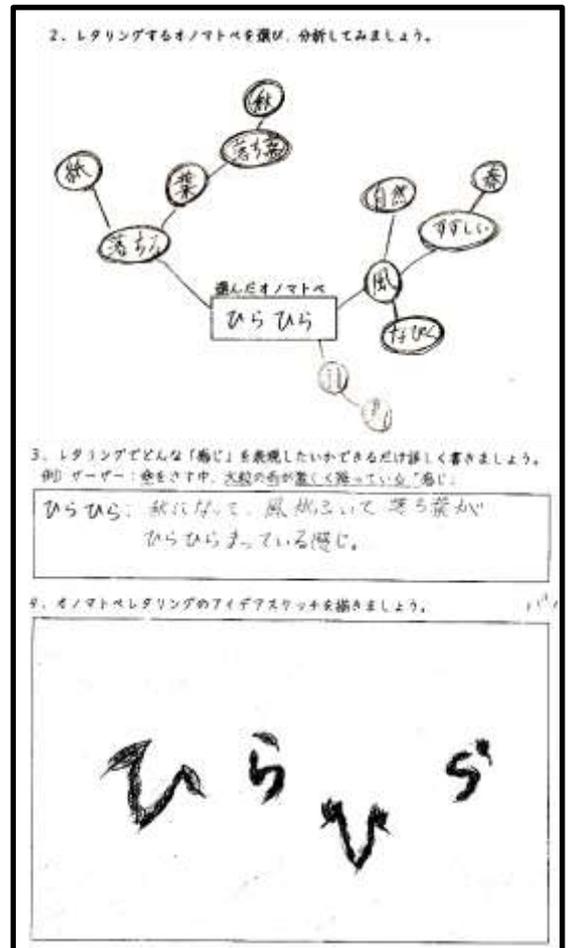


【前時を振り返る板書】

○さぐる～深める段階について（思考ツールを活用して自己内対話をする場面）

主題を明確化するため、イメージマップを活用し、自身が選んだオノマトペのイメージを広げていった。少ないイメージにとらわれないようにするため、イメージマップを友達と交換し、友達に書き込んでもらう時間を設けた。

さらに、イメージマップで広げたオノマトペのイメージを取捨選択し、焦点化してオノマトペのどのような「感じ」を表現したいのかという作品制作の主題を言語化した。



○まとめる段階について（自分の言葉でまとめる場面）

色鉛筆を用い、オノマトペレタリングのアイデアスケッチを行った。言語化した主題とイメージマップをもとに色や形を工夫することができた。また、イメージマップはアイデアの行き詰まりを感じたときに主題に照らして作品を振り返る手助けとしても有効であった。

《本時のアンケート結果》

4段階評価で以下の2項目について本時の終わりにアンケートを行った。

- ・どのような作品を作りたいか明確にすることができましたか。・・・平均3.6
- ・今までの美術の授業で習ったことを生かすことができましたか。・・・平均3.3

## 【授業の考察】

発想を広げてから取捨選択し、言語化することにより、主題が明確になり、制作では、オノマトペレタリングのアイデアスケッチを言語化した主題をもとに振り返り、作品の制作を行うことができた。さらに、小さな作品だったので早く終わった生徒はイメージマ

【ワークシート】

【成果と課題】（授業整理会およびチェックシートから明らかになったこと）

（成果）

☆イメージマップを活用し、アイデアを広げてから絞り込む活動を通して、自分がどのようなイメージをレタリングで伝えたいのかということを明確にすることができた。

☆イメージマップというかたちで思考の流れや作品としては現れない様々な発想を残すことにより、生徒の発想を膨らませるかたちでの指導を行うことができた。

（課題）

★イメージマップの中の自分で考えたものと友達を書き加えたものが見分けられるように色などを変える工夫が必要であった。



【アイデアスケッチの様子】